

# 中学生が意欲的に取り組む体育授業についての一考察

## ～テキストマイニング分析を通して～

星加浩平（高知大学）

### 1. 目的

文部科学省による体育科・保健体育科の現状と課題、改善の方向性として、運動への関心や意欲、運動をする子としない子の二極化などの問題が示された。また、中央教育審議会答申(2008)においても、学習意欲や課題に取り組む態度に個人差が拡大していることや生徒の学習意欲を高めることが必要であることも示された。以上のことから体育授業の学習意欲を高める必要があると考え、本研究は、中学生が意欲的に取り組む体育授業について明らかにすることを目的とする。

### 2. 研究方法

- 1) 対象：高知県内の中学校 106 校 1～3 年生 7,807 名
- 2) 期日：平成 27 年 1 月～2 月配布、3 月に回収
- 3) 調査項目：①学年 ②性別 ③体育の好感 ④体育授業評価（20 項目）⑤意欲的に取り組める体育授業の自由記述
4. 分析方法：意欲的に取り組める体育授業についてのテキストマイニング分析

### 3. 結果と考察

#### 1) 抽出語

協力して楽しい授業であることを基幹として、1 年生男子では、試合やゲームがあること、女子においては、ルールを守る授業であることが示された。2 年生男子では、球技やチームで楽しめることで女子においては、グループで活動して明るい授業であることが示された。3 年生男子では、球技であることで、女子では、ゲームが多いことが意欲的に取り組める要因として示された。

#### 2) 共起ネットワーク

体育授業が好きな生徒は、自分の好きな種目や得意なスポーツであることで、一方で体育授業が嫌いな生徒は、運動が苦手な人でも楽しめる授業であっ

たり、友達と励まし合える雰囲気の良い授業であることが意欲的に取り組める体育授業であると推測される。

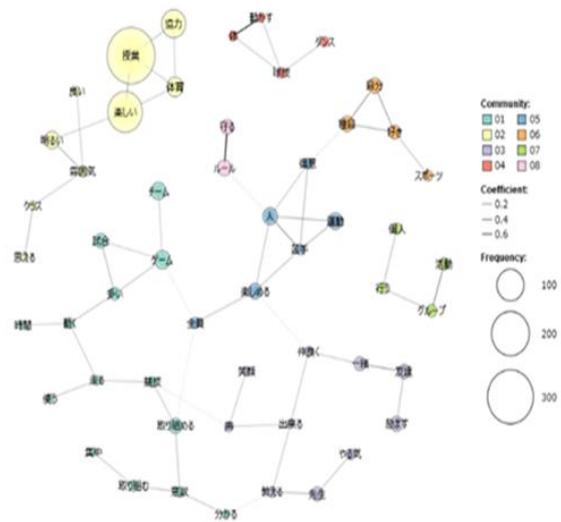


図 1 体育「好き」の「意欲的になる授業」ネットワーク図

### 4. 結論

1) 中学生が意欲的に取り組む体育授業の自由記述から示された抽出語は、「授業」「楽しさ」「協力」が頻出上位 3 項目であった。

2) 体育授業が好きな生徒の共起ネットワークは、自分の得意な競技や好きなスポーツで、試合形式やゲームが多い授業であることが示された。

以上のことから中学生が意欲的に取り組める体育授業は、体育授業が好きな生徒と嫌いな生徒では異なることが明らかになった。

### 5. 参考文献

1. 文部科学省(2006)中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会(第 44 回(第 3 期第 30 回) 議事録・配布資料[資料 5-1]-
2. 樋口耕一 KH Coder3 リファレンスマニュアル (<http://khc.sourceforge.net/dl3.html> (2017 年 11 月 30 日ダウンロード)